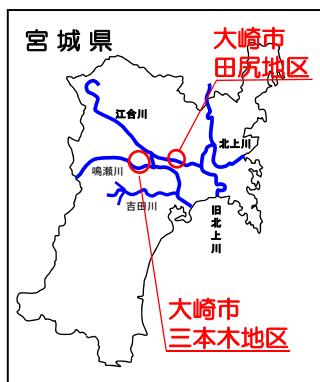


～ 梅雨本番に備えて水防団と合同で川を巡視しました ～
H29.6.1 平成29年度 合同巡視（田尻・三本木地区）を実施



- 平成29年6月1日、大崎市田尻、三本木地区において、水防団、石巻市、宮後県と合同で重要水防箇所の合同巡視を実施しました。（参加者：田尻地区16名、三本木地区27名）
- 「鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会」及び「カスリン・アイオン台風から70年」の取組の一環として、本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる箇所「重要水防箇所（※）」や工事箇所等を河川管理者と市・町・水防団が合同で巡視し、迅速な水防活動を行うために必要な情報を共有しました。
 ※「重要水防箇所」とは・・・「大きさ（高さ、幅）不足の堤防」「過去に法面が崩れた堤防」「漏水実績のある堤防」「過去3年以内に完成した堤防」など、洪水時に危険になることが予想され、重点的な巡視や点検が必要な箇所です。
- 参加者は、危険箇所の確認や水防資材の確認を行い、今後の水防活動に必要な情報の確認を行いました。

【位置図】



▲江合川左岸15.8k付近（北小牛田）重要水防箇所の巡視



▲江合川左岸16.4k 北小牛田 水防倉庫の巡視



▲田尻地区 意見交換会の様子



▲防災教育資料として作成した「マンガ 水防団の神様」※ 当日、参加者へ配布



▲三本木地区巡視前の大崎市長等の挨拶



▲鳴瀬川支川多田川右岸2.6k（蒜袋）重要水防箇所の巡視



▲三本木地区 意見交換会の様子